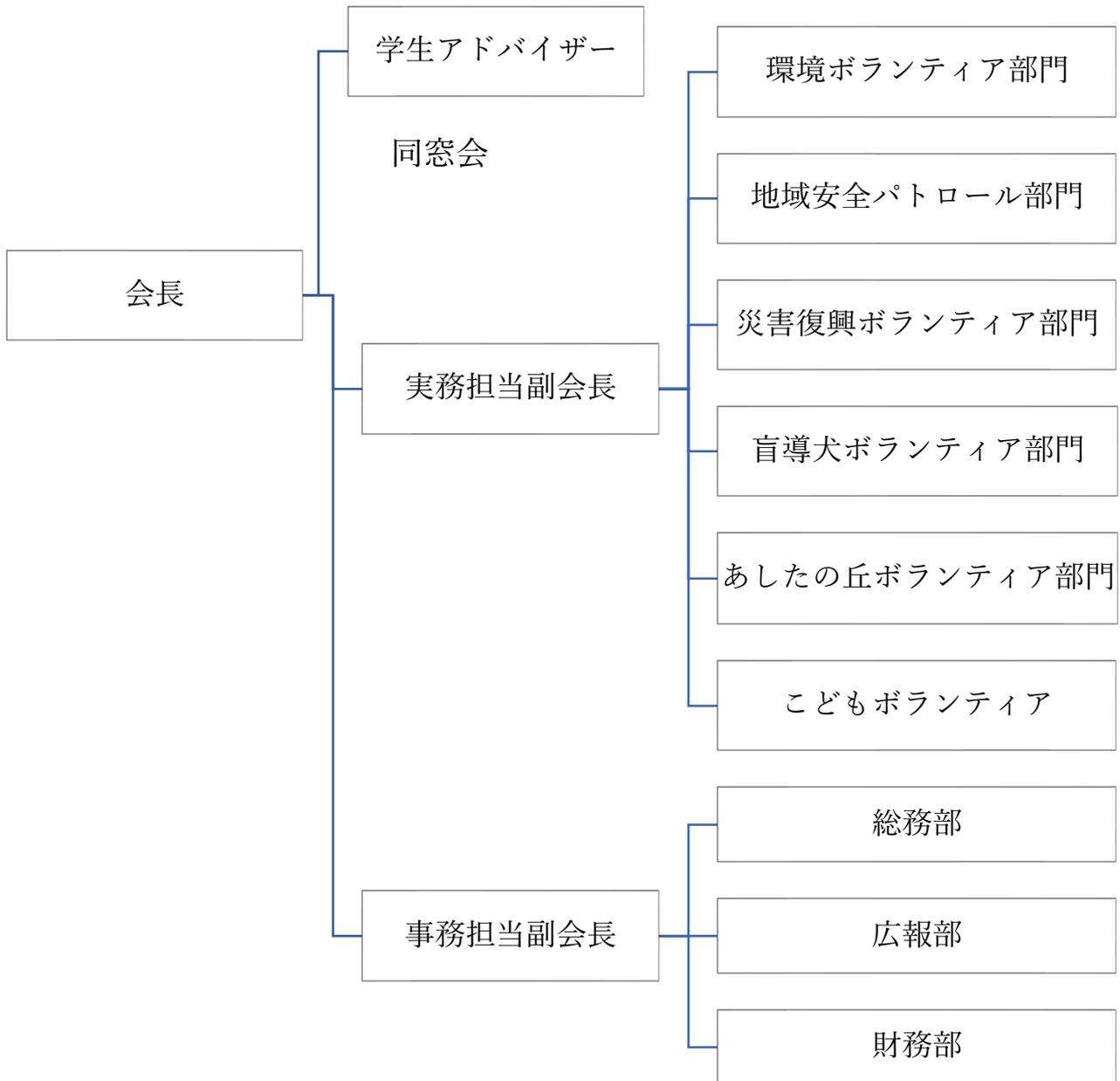


令和2年度 名城大学ボランティア協議会 活動報告書



名城大学ボランティア協議会



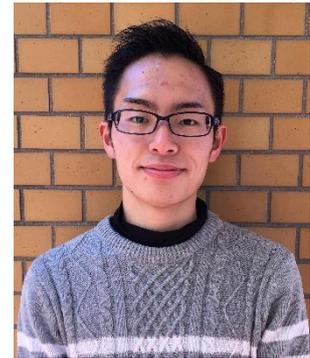
目次

・ 会長挨拶	1
名城大学ボランティア協議会 会長 石田恋宝	
・ 副会長挨拶	2
名城大学ボランティア協議会 実務副会長 遠藤安生	
事務副会長 原田誠也	
・ 名城大学ボランティア協議会概要	3
・ 本会と関わりのある団体	5
・ 令和2年度 活動報告	6
環境ボランティア部門	7
地域安全パトロール部門	9
本年度は活動が行えなかったボランティア部門	11
災害復興ボランティア部門	12
盲導犬ボランティア部門	13
あしたの丘ボランティア部門	14
こどもボランティア部門	15
イベント・行事	16
事務部門	18
・ 役員挨拶	19
・ 令和2年度 収支報告	27
・ 令和2年度 年間活動一覧	28
・ 令和2年度 スタッフ名簿	29

会長挨拶

名城大学ボランティア協議会 第16代会長

経済学部 経済学科 3年 石田恋宝



名城大学ボランティア協議会は今年度17年目を迎えることができ、これまでボランティア協議会を築き上げられた歴代の先輩方、ご支援いただいた大学関係者の皆様、地域の方々に厚く御礼申し上げます。

今年度の活動方針に『融合～学生と社会人と社会～』を掲げました。協議会役員の学年が異なることから、年齢を超えて交流ができる事や学外との連携も図るといった想いを込めた活動方針としました。

残念ながら、今年度はコロナウイルスの影響で前期は大学が閉鎖となり、人が集まることができなかつたため、活動を行うことができたのは10月下旬からでした。そのため、活動を行う事ができるのは学生が主体で行う活動が多く、全ての部門が活動を行う事は難しいのが現状でした。その中でも動くことのできる活動は頻度を増やし、ボランティア協議会の宣伝や学生との交流を積極的に行いました。今年度の役員は2年生が多く、私自身ボランティア協議会に深く関わるのは初めての事で、不安もありうまくいかないこともありましたが、役員の皆に相談し、解決策を導くことができたと思います。

来年度はコロナウイルスが終息し、通常の活動に戻すことができる部分が多くあってほしいと願うばかりです。今年度、活動できなかつたくやしい想いも込めて、多くの活動を行ってほしいですし、コロナウイルスの影響で様々な被害を受けた方に対する支援を行うことができましたら、意味のある活動になっていくのではないかと思います。他大学との交流や連携を図り、どのような活動を行っているのかを知ることで、新たな発見や名城大学ボランティア協議会でも行うことができる活動などを考えるきっかけになるとと思いますので、他大学との関係性をより築くことができれば、活動の幅も大きく広がると思います。

1年間、会長職を無事に務めさせていただくことができましたのは、役員や会員の皆様の支えと、相談に対応していただいた大学職員の方々のおかげだと思います。私はこの1年で人を信頼することの大切さを学びました。信頼できる人がいなければ、何かを行う時にはすべて自分で解決しようと動いてしまいますが、それでは、自分の体が追い付かないという問題が発生します。そのため、何かを託すには相手を理解し、関係性を築くことが重要になります。早くに関係性を築き、仕事を振り分けることで、個々の負担が減り、仕事を任された仲間は信頼されていると理解し、深く仲間との関係性を築き上げることができます。

最後になりましたが、名城大学ボランティア協議会は名城大学スポーツ・文化講演会のご支援、教職員の皆様をはじめとする多くの方々の協力によって成り立っています。今後とも、名城大学ボランティア協議会は、社会に貢献できるよう、日々努力していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

副会長挨拶

実務担当副会長

理工学部 社会基盤デザイン工学科 3年 遠藤安生



今年度で本会が17年目を迎えられたこと、大変うれしく思います。これは、ボランティアを受け入れてくださる団体・地域の方、教職員の方、そして本会の会員のおかげであります。皆様が日頃から私たちの活動にご理解とご協力いただいていること、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

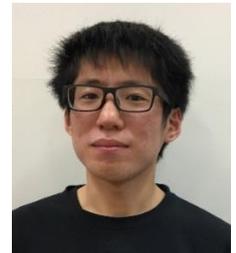
今年は、新型コロナウイルスの影響が大きく、名城大学ボランティア協議会としての活動に制限がかかり多くの活動を行うことができませんでした。またこれは、会員数や参加者の減少に拍車をかけたように思います。私自身、本会の活動によって大学生活が大きく変化しました。様々な部門があることにより多様な学生が集まる本会の活動は、多くの方との出会いが生まれる場であります。私は活動を通して素敵な方々と出会い、多くの刺激を受けたことで、様々なことに挑戦するきっかけになりました。私はこのような経験をすることができて本当に良かったと感じていますし、活動を通して少しでも多くの方の挑戦する後押しをできたらと思っています。

そこで、本年度は参加できる活動が多くないからこそ、一つ一つの活動を大切にしました。少しでもボランティア活動を身近に感じてもらえるよう、また、楽しかった、他の活動にも参加してみようと思ってもらえるように、参加者に積極的に話しかけ、楽しい雰囲気づくりを意識しました。ボランティアに興味を持つ学生が増えること、そして、活動への参加が挑戦のきっかけになることに少しでも貢献できていれらうれしいです。

最後に、いつもお世話になっている皆様、改めて感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

事務担当副会長

法学部 法学科 3年 原田誠也



本会は今年度で設立16周年を迎えることができました。今年度は新型コロナウイルス大流行の影響もあり、例年に比べて新規登録会員数が大幅に減少してしまいました。特に、今年度新入生の新規登録会員数が例年よりも圧倒的に少なかったです。しかしながら、このような状況下でも新しく本会への会員登録をしてくださった皆様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスで制限される中でも大学祭での新歓活動、スタッフ説明会を行うことができました。また、活動を通じて本会会員に登録してくださる方もいらっしゃいました。多くの活動が制限され満足いく活動ができない場合も多々ありましたが、このような状況下で活動ができることに大変感謝を感じております。感染症が収束して1日でも早く以前のような活動ができる日が訪れることを心より願っております。

最後になりますが、このような状況下でも本会が活動できているのは、教職員、同窓会、本会を支援していただいている皆様のおかげであります。この場を借りて厚く御礼申し上げます。そして、これからも本会を応援していただければ幸いです。

名城大学 ボランティア協議会



名城大学ボランティア協議会ロゴマーク
色と形の違いは、ボランティア協議会に入会している人たちの表現。性別、年齢、性格など違った人たちが、互いを尊重しあいながら、同じ目的のために団結し、1つの目標をみんなで達成することを意味しています。

概要

設立 平成 16 年 7 月 14 日

本会(名城大学学務センター)

T468-8502

名古屋市天白区塩釜ロー丁目 501 番地

TEL 052-832-1151(代)

会員数 249 人

役員数 会長 1 人

実務担当・事務担当 副会長 各 1 人

環境ボランティア 代表 1 人、スタッフ 1 人

地域安全ボランティア 代表 1 人、スタッフ 1 人

災害復興ボランティア 代表 1 人、スタッフ 2 人

あしたの丘ボランティア 代表 1 人、スタッフ 1 人

こどもボランティア 代表 1 人、スタッフ 2 人

総務部 部長 1 人

広報部 部長 1 人

財務部 部長 1 人

沿革

- 平成 16 年 7 月 名城大学ボランティア協議会設立
「クリーンアップ大作戦」・「地域安全パトロール」発足
- 平成 16 年 10 月 「災害復興ボランティア」発足
- 平成 18 年 9 月 事務部門を設置
- 平成 18 年 10 月 「天白学生地域防犯パトロール隊」結成
- 平成 19 年 4 月 「クリーンアップ大作戦」から「環境ボランティア」と改称
「盲導犬ボランティア」発足
V ポイント制度導入
「エコキャップ大作戦」開始
「省エネ・環境パトロール活動」開始
- 平成 20 年 8 月 「ふれあいあいさつ運動」開始
- 平成 20 年 9 月 顧問を設置
- 平成 21 年 3 月 同窓会発足
- 平成 21 年 6 月 エコキャップ回収ボックスの学内設置
- 平成 22 年 1 月 名古屋市と「なごや防犯ボランティア団体協定」締結
- 平成 22 年 4 月 「あしたの丘ボランティア」発足
- 平成 25 年 4 月 「顧問」から「学生アドバイザー」に改称
「渉外部」設置
- 平成 26 年 9 月 10 周年式典
- 平成 27 年 4 月 「渉外部」廃止
- 平成 30 年 4 月 「こども部門」発足
- 現在に至る

設立の経緯

名城大学ボランティア協議会は、平成16年7月に設立されました。きっかけは、設立の2年前、本会の初代会長である加藤隆吾氏が学内のたばこの吸い殻を拾い出したことでした。ひとり、またひとりとその行為に賛同する学生・教職員が集まり、月一回の清掃活動が学内で定着していきました。その活動は「クリーンアップ大作戦」と命名され、平成16年4月のクリーンアップ大作戦には100名を超える学生・教職員が参加するに至りました。その後、ボランティアに対する意識が大学全体に根付きつつあることから、さらにその活動の幅を広げ、ボランティア活動に組織的に取り組もうという機運が高まり、本会の設立となりました。

現在では、登録書数は300名を超え、その活動の範囲も環境・防犯・災害復興・福祉など多岐にわたり、名古屋市天白区を中心に積極的なボランティア活動を展開、地域社会に貢献できる地域密着型の学生ボランティア団体を目指して日々活動しています。

目的

名城大学に在籍し、ボランティア活動に関心のある学生がボランティア活動を実践し、社会の一員として地域社会に貢献するとともに、様々な経験を通して学生自身の成長に寄与する。

理念

- ・ボランティア活動への理解
- ・ボランティア活動の実践
- ・ボランティア活動による地域社会貢献

ボラ協に入ってみよう

- ・会員について

名城大学に在籍し、ボランティアに興味のある学生ならだれでも本会会員になることができます。入会後は、電子メールを通してボランティア活動の情報を受け取ることができるようになります。そこから、自分にあったボランティア活動を選び、いつでも気軽にボランティア活動に参加することができます。

- ・運営スタッフについて

ある程度の経験を積んだ会員がボランティア活動の企画・立案・運営を行います。いわば、ボランティア活動の「コーディネーター」というべき存在です。



歴代会長

平成16年度	初代	加藤 隆吾 (理工学部4年)
平成17年度	初代	加藤 隆吾 (大学院理工学研究科)
平成18年度	4月~10月	初代 加藤 隆吾 (大学院理工学研究科)
	10月~3月	2代目 小島 愛子 (経営学部3年)
平成19年度	3代目	前田 裕也 (法学部3年)
平成20年度	4代目	片岡 豊 (法学部3年)
平成21年度	5代目	鈴木 将也 (理工学部3年)
平成22年度	6代目	森下 雄太 (理工学部3年)
平成23年度	7代目	日江井 康輔 (経営学部3年)

平成24年度	8代目	久米 悠介 (法学部3年)
平成25年度	9代目	濱口 静加 (農学部3年)
平成26年度	10代目	岩田 大勢 (理工学部3年)
平成27年度	11代目	佐藤 和也 (経済学部3年)
平成28年度	12代目	和佐田 一貫 (法学部3年)
平成29年度	13代目	岡田 悠希 (法学部3年)
平成30年度	14代目	井本 有哉 (法学部3年)
令和元年度	15代目	井戸 すずか (経営学部3年)
令和2年度	16代目	石田 恋宝 (経済学部3年)

本会と関わりのある団体

名城大学

経緯本部 総務部

環境学生ワーキング

防火・防災担当

名古屋市大学生消防団 名城大学分団

APP (あいちパトロールピーポ)

天白区

天白警察署

天白消防署

天白区役所 地域力推進室

- ・安心・安全で快適なまちづくり協議会
- ・安心して暮らせるまち分科会
- ・すこやかにいきいきと暮らせるまち分科会

天白区社会福祉協議会

大坪小学校
大坪小学校「親の会」

あしたの会

表山学区

天白区手をつなぐ育成会

生物多様性センター

愛知県

愛知県警察

名古屋市消防局

中部盲導犬協会

あけびの会

砂田橋子ども食堂

矢田小学校

興正寺

愛知県外

気仙沼市大島

支援団体

名城大学スポーツ文化後援会

一般財団法人 学生サポートセンター

朝日新聞厚生文化事業団

公益財団法人修養団

令和2年度 活動報告



環境ボランティア部門

クリーンアップ大作戦

環境ボランティア部門の代表的な活動の一つです。月に2、3回昼休みに大学周辺を清掃しています。この活動では、普段では意識しないゴミを探しどれだけのゴミが捨てられているのかを理解するとともに、定期的に活動を行う事でゴミを捨てさせにくい環境を作ることを目的としています。また、新会員が気軽に参加しやすい活動なため、この活動を通して名城大学ボランティア協議会と関わる第一歩の役割を担っています。

クリーンアップ大作戦は「Vポイント」という制度を導入しており、タワー1階カーサでポイントを食券として利用できるメリットがあります。ボランティア協議会の会員以外の学生にも告知をしているため、誰でも参加できる活動として大学全体で活発に行っています。



大規模クリーンアップ

毎年、大学祭後に行われる大人数による大規模で行う活動です。今年は、コロナの影響で大学祭の規模縮小により、参加者が集まるか不安でしたが、大学祭実行委員などの多くの方の参加により、活動を行うことができました。当日は雨が降りそうな天候が悪い中でしたが、1時間程大学周辺のゴミ拾いを行うことにより、多くのゴミを回収することができました。この活動を通じて感じたことは、大学周辺のゴミを回収してもなぜ、次々にゴミが排出されてしまうのか、今後はそもそもなぜ生活の中でゴミが発生してしまうのかという根本的な問題を解決しなければならないと感じました。

エコキャップ大作戦

ペットボトルのキャップをゴミとして捨てるのではなく、回収し資源としてリサイクルすることにより得た利益を寄付することで、ポリオワクチンを購入し、病気で苦しんでいる子どもたちに届ける活動をしています。大学内のゴミ箱に設置されている回収箱のエコキャップを回収し、リサイクルの可否を判断し分別しています。これらは簡単な作業で参加者同士の交流ができるほか、役員とも知り合うことができるため、名城大学ボランティア協議会の事を深く知ることができる機会になっています。

今年はコロナの影響で前期間、学校封鎖の影響もあり回収量は少なかったですが、6万個、156kgを回収することができ、1,560円寄付を行いました。活動時間は2時間ほどで、授業の空いた時間に気軽に参加することができる活動になっています。



地域安全パトロール部門

防犯パトロール

防犯パトロールは月に一回ほど、大学近くを一時間程度歩きながら、公園にある遊具に危険な箇所がないか、道にある標識が曲がっていないかなどの点検を行います。防犯パトロールは住宅侵入が起きやすい13時～15時に行うことが多いですが、会員の皆さんの授業時間も考慮し、曜日や時間を固定化しないように心がけました。来年度以降も継続して行い、他のキャンパスを拠点として活動ができればと考えています。



ふれあいあいさつ運動

ふれあいあいさつ運動は月に1～2回ほど、大学近くの大坪小学校校門付近で1時間程度、下校中の小学生児童を対象にあいさつと見守りを行う活動です。小学校の下校時刻に合わせるため、13時～15時に活動を行うことがほとんどですが、いつも多くの方にご参加いただいております。令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により、例年と比べて活動回数が少なかったですが、子どもたちの元気の良いあいさつは変わらず、私たちも元気をいただきました。

飲酒運転根絶キャンペーン

令和2年12月9日（水）

天白区役所、天白警察署、交通安全レディースクラブの方々と協力して、飲酒運転根絶を目的とした啓発運動を行いました。天白区植田西交差点付近で、大型電光掲示板と「飲酒運転追放」の文字が書かれたサイン板を用いて、通行するドライバーに対し飲酒運転の根絶を訴えました。また、歩行者や自転車利用者へ、蛍光板付き手袋やマスク、マスクケースなど啓発品を配布し、飲酒運転防止を呼びかけました。



ダブル・オー作戦

令和2年12月18日（金）

各種防犯団体と警察が協力して行う、青色パトロールの出発式に参加しました。青色パトロールは、青色の回転灯を装着したパトカーのことで、自主防犯ボランティアが行うパトロールです。天白区には青パトが60台もあり、名古屋市内では最大数だそうです。今年は天白区での交通事故件数は昨年よりも減少傾向にありますが、年末にかけて増加の恐れがあるという警察署の方のお話がありました。出発式の最後に会長の「エイエイオー」の掛け声のもと、60台の青パトの出発を見送りました。



例年通り活動が行えなかった ボランティア部門

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集まることが制限されて多くの活動が休止せざるを得ない状況になってしまいました。今年度、例年通りボランティア活動が行えなかった部門の活動内容も伝えるために例年の活動をこの活動報告書において紹介させていただきます。来年度はコロナ禍が終息し、すべての部門が活動できることを願っています。

災害復興ボランティア部門

はまらいんや！大島

一年で2回、春と秋に宮城県気仙沼市大島に向かい、テーマ・目標を設定してボランティア活動を行っています。昨年は看板の設置や島民の方の震災講話、ディスカッションを通じて防災に対する意識づけを行いました。



今年度の活動



太白でいぶり第70回防災学習会第70回防災学習会
「身近なもので快適な避難生活 災害時に役立つロープワーク」

令和2年7月19日(日)

テント設営に必要な資材の種類の説明を聞いたり、基本的なロープの結び方やその活用方法を学んだりしました。その後、ミニチュア版のテント設営を机上で行いました。

盲導犬ボランティア部門

あけびの会

あけびの会とは中部盲導犬協会を卒業した盲導犬ユーザーで結成された会で、総会やイベント時での補助などを行っています。



サポーター講習会

ボランティアをするうえで必要な視覚障がい者の補助について学ぶ活動です。



街頭募金

盲導犬育成のための募金活動を行っています。例年ではゴールデンウィークに名古屋駅付近で行っています。

あしたの丘ボランティア部門

あしたの丘は名城大学近くの福祉施設です。
例年では、月に2回ほど施設を訪れて障害者スポーツ
や創作などを施設利用者の方と楽しんでいました。
また、去年はあしたの丘まつりというイベントの企画
にも関わりました。



創作



ゴロバレー

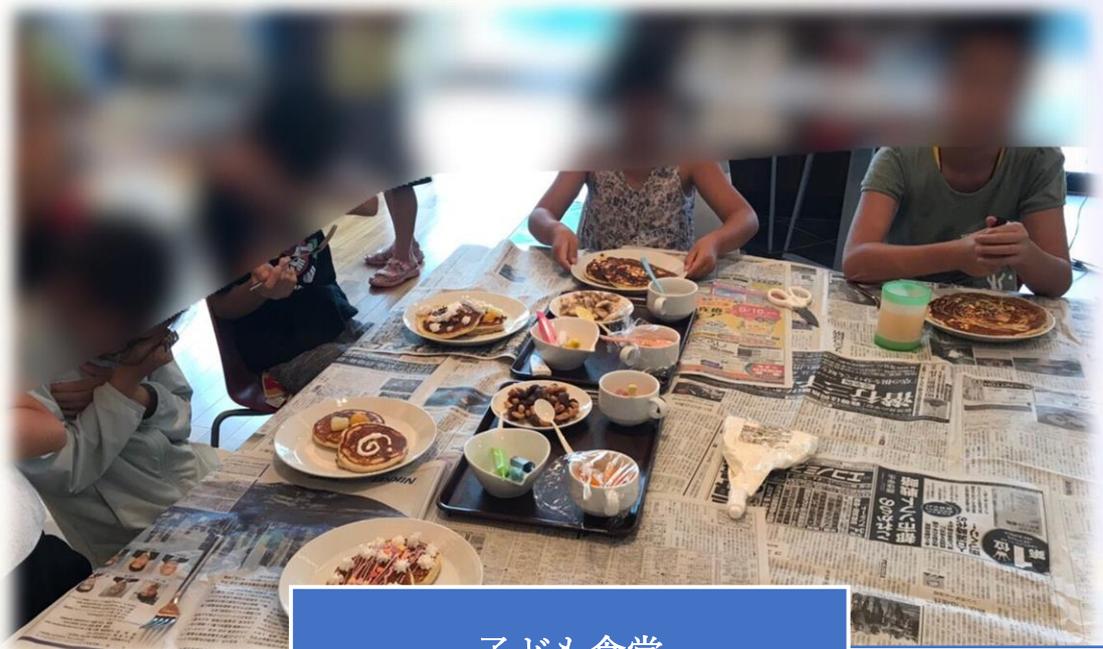


ペタンク



カローリング

こどもボランティア部門



子ども食堂

砂田橋駅の近くで月に1, 2回開かれている「子ども食堂」にボランティアとして参加する活動です。食事の準備をしたり、子どもたちとふれあいながら食事をしたりしています。昨年は夏休み期間には工作イベントやお菓子作りイベントも併せて実施しました。



わくわくスポーツイベント

子どもたちと障害物競走や、しっぽとりなどをして楽しむイベントです。昨年は、夏休みなど小学校が休みの時にドーム前キャンパス近くの矢田小学校のトワイライトスクールで行いました。



イベント・行事



大学祭

令和2年10月29日～31日

今年の大学祭は縮小して行われましたが、ボランティア協議会では輪投げのブースを企画し、来てくれた1年生の方に楽しんでもらえました。

また、例年4月に行っていた1年生に向けて行っていたボランティア協議会の説明会も教室を借りて開催しました。

多くの1年生にボランティア協議会に対して興味を持っていただけたと思います。



会長選挙

令和3年1月6日

来年度の会長を決める選挙を行いました。今回は、立候補者が1人であったため、信任投票でした。



活動報告会

令和2年12月2日・令和3年1月6日

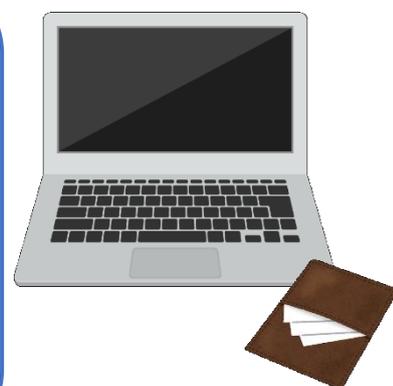
活動報告会は活動内容の紹介をしたり、新しくスタッフとなる人を承認したりしています。例年は毎月の月末に活動報告会を行っていましたが、今年は不定期での開催となってしまいました。ボランティア協議会の活動を知るいい機会となりました。



事務部門

総務部

- 報告書やスタッフの名刺などの作成
- 報告会で使用するスライドづくり
- 報告会での司会



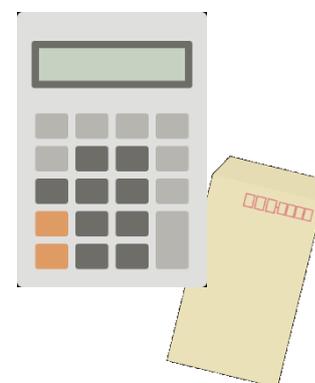
広報部

- SNS (Twitter・Facebook・Instagram)での活動の告知や活動後の報告
- 学内にあるボラ協の掲示板の管理と書き換え
- 活動写真の撮影



財務部

- 交通費、備品代、経費の管理・支給
- 年度収支報告書の作成
- 学祭の出店における売上金計上

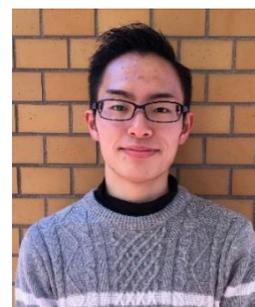


役員挨拶

環境ボランティア部門

代表

経済学部 経済学科 3年 石田恋宝



今年度の環境ボランティア部門では、エコキャップ大作戦とクリーンアップ大作戦の2つを主に行いました。今年度はコロナウイルスの影響により、前期の大学封鎖、大学祭の規模縮小、区の事業の中止など、学生が個人で動くことのできる活動しか行う事ができず、環境ボランティア部門としては活動に制限がかかるという厳しい現状でした。

活動を再開できたのは11月からでした。エコキャップ大作戦では各役員に回収場所の役割を割り振り、エコキャップを意識してもらったり、分別には積極的に参加してもらい分別と役員の交流など、人間関係形成したりする役割も担ってきました。他にも1年生の学生にも参加していただき、ボランティア協議会の組織や雰囲気等を感じてもらえる事ができる良い機会になったかと思います。皆さんに参加していただいたおかげで、2019年12月から2020年10月分のエコキャップ量は156kg、約6万個を回収することができ、ポリオワクチンへ1,560円の寄付を行うことができたのは良い結果だと思います。

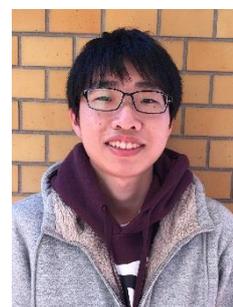
クリーンアップ大作戦では、活動頻度を増やし、月に3回実施しました。ゴミの捨てられている場所としてベンチの下や草むらなどの人目につきにくいところが多く、注意して活動を行うことができました。ですが、まだまだ減らないゴミ問題を解決していくことは今後の課題だと感じました。このような活動を通じて学生が、ごみの分別やリサイクル、ゴミのポイ捨て禁止などの環境問題に興味をもつきっかけになれば幸いです。

来年度の目標としましては、エコキャップ大作戦とクリーンアップ大作戦の2つの活動を続けていくことはもちろんのこと、天白キャンパスだけではなく、八事とドーム前キャンパスにも活動を広げることにより、環境ボランティア部門の発展と多くの活動実績を残したいです。

最後になりますが、環境ボランティア部門の活動に参加していただいた、学生や職員の方々に心より感謝をいたします。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

スタッフ

経済学部 経営学科 2年 小原敏史



以前から活動に興味があり、ゴミ拾い等の活動を通して環境美化に興味をもち、部門のスタッフを務めました。そのことにより、ボランティアが「地域や教職員の方々の協力によって成り立っている」というのがとてもよく分かりました。

これからもボランティア協議会の一員として頑張ってまいりますので、よろしくお願い致します。

地域安全パトロール部門

代表

法学部 法学科 2年 森明日香



地域安全パトロール部門では、防犯パトロールとふれあいあいさつ運動の2つの活動を中心とし、年末には天白区役所や警察署の方々との啓発活動、パトロール活動を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で後期からの活動とはなりましたが、毎回の活動に多くの会員が参加してくれました。

ふれあいあいさつ運動では、大学近くにある大坪小学校で下校する小学生に挨拶を行っています。あいさつを通して子供たちと関わり、日頃から挨拶をする習慣を身に付けてほしいことを目的としています。また、大坪小学校は門を出るとすぐに道路となっており、自転車も頻繁に通る道なので、出会い頭での衝突や子供の飛び出しを防ぐ点からしてもこの活動には意義があるのではないかと考えています。

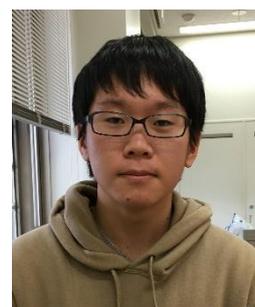
防犯パトロールでは、天白キャンパス付近の住宅街や公園を歩いて回り、不審なものがないか、遊具が安全に設置されているかの確認を行っています。遊具の安全性は基本的に問題ありませんが、公園を見回っていると、木々が生い茂っていていかにも不審者が出そうな公園もあり、夕方に子供が遊ぶには危険と感じるところがありました。今後は役員内での危険個所の共有も行いたいと考えています。

近年は、会員の活動参加が減少しつつあります。特に防犯パトロール活動においては大人数で行えばなお効果的であるため、今後は活動に参加しやすくなるような工夫も必要だと考えています。

最後になりますが、当部門での活動を日ごろよりご理解、ご協力いただいている天白区役所や天白警察署の方々、大坪小学校の先生方や保護者の皆様、地域住民の方々に心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

スタッフ

農学部 応用生物化学科 2年 福原悠生



地域安全パトロール部門スタッフの福原悠生です。令和2年度の活動では、多くの方が参加してくれたので、とても嬉しく思います。地域安全パトロール部門の活動には「ふれあいあいさつ運動」「防犯パトロール」など、はじめての方でも参加しやすいものが多いです。興味のある方はぜひ参加してみてください。

災害復興ボランティア部門

代表

理工学部 社会基盤デザイン工学科 3年 遠藤安生



災害復興ボランティア部門では、被災地への支援や災害ボランティアとしての知識を深める活動を行っていました。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で、ボランティアの受け入れの制限や、感染拡大予防に伴う活動の中止があり、例年通りの活動を行うことができませんでした。また、私自身が環境の変化に適応しきれず企画を進められなかったこともありました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。このことを反省しつつ、来年度は現在の課題であるコロナ渦での被災地支援の方法を模索しつつ、できることを精一杯行いたいと考えています。

また、2021年3月で東日本大震災から丸10年が経ちます。2011年から、宮城県気仙沼市の大島を訪問し、継続して支援をさせていただいていますが、時間の経過に伴い必要とされている支援も変化しています。なので、来年度は何を求められているのか、私たちに何ができるのかを改めて考え、それに応じた活動を行っていきたいと思います。

最後に、活動を応援してくださる教職員や現地の方々、いつもお世話になっております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

あしたの丘ボランティア部門

代表

農学部 生物資源学科 4年 吉田菜央



大学近くの障がい者福祉施設「あしたの丘」で活動しています。月に2回ほど施設を訪れて障がい者スポーツや創作などの活動の補助をしながら施設利用者の方と一緒に楽しみ、交流を深めています。

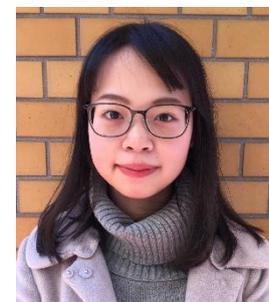
しかし、新型コロナウイルス感染症対策としてあしたの丘でのボランティア受け入れが停止となったため、ほとんど活動を行うことができませんでした。今年度は、活動が講義と重なってしまうという学生からの声を受け、講義のない長期休暇中により多くの活動を予定していましたが、行うことができず残念に思います。

あしたの丘での活動はどれも利用者の方との関わりが深く、楽しそうにしている姿や笑顔を見るとやりがいを感じられます。また、活動での交流を通して、普段接することのない障がい者の方への理解を深められるところが魅力であると考えています。活動再開の時期は未定ですが、これからもこのようなあしたの丘での活動の魅力をより多くの学生に感じていただけるよう運営してまいります。

最後になりましたが、活動をさせていただくにあたり、あしたの丘の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

スタッフ

農学部 生物資源科学科 4年 橋本佳歩



今年度はあしたの丘での活動がほとんどできませんでした。昨年度、あしたの丘まつりに台風の影響で参加できなくなってしまったときも非常に残念でしたが、今年度はそれを上回るほどのやり切れない思いが募っています。後輩たちがあしたの丘で活動をして、利用者の皆さんに交流を楽しんでもらえる日が1日でも早く来ることを願っています。最後になりましたが、昨年度までも含め、あしたの丘の皆さんには大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

こどもボランティア部門

代表

経営学部 国際経営学科 2年 西河原祐麻



こどもボランティア部門では、こどもの孤食の増加や遊び場所の不足など、現代社会が抱える問題解決に少しでも役に立ちたいという思いから、一昨年に設立されたかきの部門です。活動では、こどもたちが楽しむことができる居場所づくりを目指しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響によりこどもと触れ合う活動をするできませんでした。しかし、コロナ前に行った様々な活動で多くの事を学び、活動の一つ一つがとても充実したものだと感じました。

イベントに参加してくれたこどもたちに、「楽しかった」「また来てね」と言ってもらえることがとても嬉しかったです。特に、わくわくスポーツ大会では初めは緊張して話してくれなくても、活動を通じて次第に打ち解け、終わりには笑顔でまた来てねと言って貰えたことは一生の思い出になりました。来年度は、感染予防をしつつより多くのこどもや学生が参加しやすい環境を作り、何よりも楽しみ楽しんでもらう事を大切に活動をしたいと思っています。

最後に、こどもボランティア部門の活動は、矢田小学校トワイライトスクール関係者の皆様、子ども食堂関係者の皆様、地域の皆様のご協力によって支えられています。この場を借りて深く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

スタッフ

農学部 応用生物化学科 2年 清水佑菜



今年は、活動することができなかつたため、子どもや地域の方たちの笑顔が見られなかつたり、にぎやかな雰囲気を味わうことができなかつたりと寂しい1年でした。来年は規模が小さくても、何か子どもと触れ合える機会があればいいなと思っています。

総務部

部長

農学部 応用生物化学科 2年 吉川歩実



総務部では、ボランティア協議会の総括を行う部署として、活動報告会のスライド作成と司会、名刺の作製、年度末報告書の作成を行っています。表立って、活動することは少ないですが、事務の立場からボランティア協議会を支えられるように活動しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、ボランティア協議会の活動そのものが制限され、総務部でも活動量が少ない年になってしまいました。しかし、後期には少しずつではありますがボランティア活動ができるようになり、活動報告会なども行うことができました。

活動報告会はボランティア協議会の活動を振り返るとともに、活動にあまり参加をしたことがない方にどのような活動を行っているのかを発信できる大切な会です。今年度はあまり例年よりも少ない頻度でしか行えていないので来年度は月一回は行えるようにしたいです。また、今後はよりスムーズで来てくれた方の気になる情報が受け取りやすい活動報告会へと改善していこうと考えています。

最後になりましたが、総務部の活動はそれぞれの部門の活動によって成り立っています。活動を企画・運営している実務部門のスタッフ、事務の立場から活動を支えている広報部・財務部のスタッフ、活動に参加している会員の皆様に感謝しております。また、活動が円滑に行えるように働きかけ、アドバイスをしてくださる教職員、普段の活動でお世話になっている施設や団体の方々など、周囲の支えがあり、今日まで総務部は活動ができています。この場を借りてお礼申し上げます。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

広報部

部長

法学部 法学科 2年 渡邊明日香



広報部では、本会の活動を広く知ってもらうために日々活動しています。タワー2階・4階のホワイトボードの更新、またSNSの更新を行っています。今年は、コロナが流行してしまい活動があまり出来ませんでした。活動ができない間SNSを更新することができなかつたことが後悔しています。後期では、新1年生に向けての新歓を行うことができなかつたため、新1年生に向けてSNSを更新してきました。また、今後は部門ごとをSNSで紹介していきたいと思っています。特にインスタを使って更新していこうと思っています。全部のインスタを連携させて更新頻度を上げました。また、インスタのストーリーを使い、活動の前日、当日に更新をしました。インスタの投稿は、活動報告を主に投稿しました。今後も工夫をしながら発信していきたいと思っています。

財務部

部長

法学部 法学科 3年 原田誠也



今年度は、新型コロナウイルスの影響により活動が制限されたこともあり例年に比べて収支の動きがありませんでした。収入面では毎年模擬店を出店している大学祭では感染症対策のためにお金のやり取りが制限され毎年大きな活動資金源となっている大学祭売上金が0円となってしまいました。支出面では、外部への活動が大幅に制限されましたので交通費支給が大幅に減少しております。

今年度私はこの財務の活動を通じて、お金の管理についてたくさんのことを学べたと思います。例年よりも活動が少なかったことはとても残念ではありましたが、ここで学んだ知識等を将来に活かしていきたいと思います。

このような状況下の中で活動できたことに感謝を申し上げると共に感染症が収束して例年通りの活動ができるようになり、収支の動きが活発になる日が1日でも早く訪れることを願っております。

最後になりますが、財務部が活動できるのは会員の皆様や本会をご支援していただいている皆様のおかげであると日々感じております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

令和2年 収支報告

会計期間 令和2年1月1日～令和2年12月31日

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	478,943	
利息	2	
寄付	45610	
大学祭売上金	0	
合計	524,555	

支出の部

項目	金額	備考
交通費	26930	
総会費用	4086	
総務部門	220	色紙代
学祭費用	3729	
手数料	440	
時期繰越金	488430	
合計	524555	

令和2年度 年間活動一覽

年	月	日	活動名称	参加人数	内容	場所
R2	3	3	第1回あしたの丘	3	創作	あしたの丘
	7	19	天白でいぶり第70回防災学習会	4	講習会	天白区在宅サービスセンター
	10	19	第1回ふれあいあいさつ運動	3	あいさつ運動	大坪小学校
		21	第1回クリーンアップ大作戦	6	清掃活動	本部棟下
		29,30,31	大学祭	10	大学祭	名城大学(天白)
	11	5	第2回クリーンアップ大作戦	4	清掃活動	大学周辺
		7	大規模クリーンアップ	35	清掃活動	名城大学グラウンド方面 八事方面
		11	第1回エコキャップ大作戦	10	エコキャップ仕分け	部室(8-501,502)
		12	第3回クリーンアップ大作戦	10	清掃活動	本部棟下
		19	第2回ふれあいあいさつ運動	8	あいさつ運動	大坪小学校
		24	防犯パトロール	6	パトロール	大坪小学校方面
		25	第2回エコキャップ大作戦	6	エコキャップ仕分け	部室(8-501,502)
		26	第4回クリーンアップ大作戦	15	清掃活動	自転車置き場方面
	12	2	活動報告会	17	報告会	名城大学(天白)
		9	飲酒運転撲滅キャンペーン	11	防犯啓発運動	植田西交差点付近の路上
		9	第5回クリーンアップ大作戦	14	清掃活動	本部棟、公園方面
		11	第3回エコキャップ大作戦	1	エコキャップ仕分け 回収	部室(8-501)
		15	第1回スタッフ説明会	10	説明会	名城大学(天白)
		15	第3回ふれあいあいさつ運動	8	あいさつ運動	大坪小学校
		17	第6回クリーンアップ大作戦	15	清掃活動	本部棟、道路
18		ダブル・オー作戦	4	防犯啓発運動	天白区役所	
23		第7回クリーンアップ大作戦	17	清掃活動	本部棟、公園方面	
24	第2回スタッフ説明会	8	説明会	名城大学(天白)		
R3	1	6	会長選挙・活動報告会	14	会長選挙・報告会	名城大学(天白)

令和2年度 役員・運営スタッフ名簿

役職	氏名 (学部・学科・学年)	
会長	石田 恋宝	(経済学部・経済学科・3年)
実務担当副会長	安井 安生	(理工学部・社会基盤デザイン工学科・3年)
事務担当副会長	原田 誠也	(法学部・法学科・3年)

部門	役職	氏名 (学部・学科・学年)	
環境ボランティア 部門	代表	石田 恋宝	(経済学部・経済学科・3年)
	スタッフ	小原 敏史	(理工学部・交通機械工学・2年)
地域安全パトロール 部門	代表	森 明日香	(法学部・法学科・2年)
	スタッフ	福原 悠生	(農学部・応用生物化学科・2年)
災害復興ボランティア 部門	代表	安井 安生	(理工学部・社会基盤デザイン工学科・3年)
	スタッフ	水谷 瑛梨香	(法学部・法学科・3年)
		河西 美沙希	(農学部・生物環境学科・3年)
あしたの丘ボランティア 部門	代表	吉田 菜央	(農学部・生物資源学科・4年)
	スタッフ	橋本 佳歩	(農学部・生物資源学科・4年)
こどもボランティア 部門	代表	西河原 裕麻	(経営学部・国際経営学科・2年)
	スタッフ	清水 佑菜	(農学部・応用生物化学科・2年)
		稲垣 あかり	(人間学部・人間学科・3年)
総務部	部長	吉川 歩実	(農学部・応用生物化学科・2年)
広報部	部長	渡邊 明日香	(法学部・法学科・2年)
財務部	部長	原田 誠也	(法学部・法学科・3年)

学生アドバイザー：井戸 すすか (経営学部・経営学科・4年)